

忘年会（団結会）を行いました

東播支部 支部長 石田 真一以下20名は、令和6年11月16日（土）、兵庫県加古川市の寿司店「辨慶」において、恒例行事である忘年会（団結会）を開催しました。

会の冒頭に支部長挨拶として、正月に起こった能登半島地震による災害派遣隊員の激励・見送りから始まり、5月のサツマイモ植付け、7月の慰霊行事・慰霊碑清掃、11月のサツマイモ収穫祭等、一年を通じて会員の皆様のご尽力に対し、感謝の意を述べられました。

また、この忘年会の後には歴史ウォーク、小野ハーフマラソン等の行事が残っており、重ねて協力をお願いする言葉を述べられた後、乾杯の発声で宴が始まりました。参加された皆様は豪華な刺身、ふぐ刺し、ふぐちり、カキフライ、寿司などに舌鼓し、お腹一杯となり大満足されていました。

支部長挨拶



お酒が進む新鮮な刺身盛合わせ



積もる話に花を咲かせる会員の皆様（今年もお疲れ様でした。）



今年の参加者には、80歳を超えた現役バリバリの理事役が3名参加しており、参加会員と元気いっぱいの歓談をおこない、支部が大事にしている「和」を基調とした有意義な団結会となりました。また、今年入会された神寄会員も参加され、会の中盤には一言挨拶を頂き、しっかりと東播支部の仲間の輪に加わって頂くことができました。

事務局長 細貝 寛徳

参加者による集合写真

